さとうきび通信

平成25年：夏号

発行日：平成25年8月7日

生和糖業㈱喜界工場
発行・編集：原料部

	6　月				7　月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
今年	28.7	24.0	26.0	207.0	32.2	25.9	28.6	0.0
平年	27.8	23.5	25.6	343.2	31.4	26.5	28.8	118.1
平年との差	＋0.9	＋0.5	＋0.4	－136.2	＋0.8	－0.6	－0.2	－118.1

雨降らず さとうきび ピンチ！！

さとうきびの生育は気象状況に左右され、特に台風や干ばつには大きく影響されます。生育旺盛な夏季は十分な日照と水分は不可欠です。
7月の生育調査では、メイチュウ類の被害も少なく茎長、茎数共に昨年を上回る程生育は順調でした。
しかし、6月29日以来降雨がなく、連日の猛暑で圃場は干ばつ気味で、さとうきびの葉にロール現象が見られます。甚大な被害をもたらす台風接近は警戒が必要ですが、本年に限り台風発生でもなければ、降雨が期待出来ない状況が続いています。
小まめに圃場を見廻って状況を把握し、適確な作業や処置を行いましょう。

葉のロール現象と黄化が見られる花良治地区の圃場（8月2日）

降雨
6月27日　74 mm
6月28日　2 mm
↓
8月6日　0 mm

伊砂（阿丸）
7月30日

1）　スプリンクラー使用は決められた散水日及び散水量を守りましょう。

2）　角度や向きに注意しましょう。

町糖業振興会総会で表彰

当社では、例年、町糖業振興会総会に生和糖業賞を設けて製糖期におけるさとうきび出荷に関わる優れた成績の生産者を4部門で表彰しています。去る7月18日に開催された総会でも下記の生産者が表彰されました。
近年会社に搬入されるきびに雑草などの混入物が多い中で、日頃の圃場管理が行き届きトラッシュ低減に努力された方々です。

生和糖業㈱賞		内　　容	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
予約達成賞		予約と実績の変動が10a以内、搬入量100t以上で予約率が100%に近かった生産者	福井長次郎	99.4	嘉　良二	101.1	新田俊彦	101.3
トラッシュ低減努力賞	手刈部門	手刈収穫（HV刈以外）で、トラッシュ率の低かった生産者（ 生産量50t以上 ）	永　政倫	0.40	岡田武久	0.40	岡本俊夫	0.42
	HV委託部門	HV収穫委託者で、生産量が多く且つトラッシュ率が低く、且つ雑草混入が低かった生産者（ 生産量100t以上 ）	尚　長寛	5.02	酒井和代	7.68	篠原　平	7.50
	HV組合部門	HV受託組合で、トラッシュ率の低かった生産組合	盛島昭一	6.75	尚　長八	7.21	セタマ生産組合	7.42

立毛品評会行われる！ …… 中里地区 ……

さとうきびの立毛を競う品評会が現在も続いているのは湾、中里、荒木地区です。
各作型の茎長、茎数、畝幅、管理状況を加点し、順位を決めます。
去る7月10日に行われた中里地区の立毛品評会は区長、協力員の下で21筆の圃場を見てまわりました。
当日は町産業振興課、JA、普及所、生和の原料係と集落のきび生産者が集まり出品された圃場を回り計測や観察が行われました。畦畔や圃場内の除草等の管理は行き届き、どの圃場も優劣がつけ難く選定は難航しましたが、特に1位になった夏植圃場には参加者も絶賛していました。

前作は野菜畑

【 夏植部門　中里 1位圃場 】

3地区の作型別第1位成績

1位	（cm）平均茎長（40点）	（本）茎数（30点）	（cm）畝幅（10点）	管理（10点）	病害虫（10点）	合計（100点）	
夏　植（中　里）	259.0	56.0	110	—	—	—	・・・実測
	40.00	25.84	5.00	10.00	10.00	90.84	・・・点数
春　植（荒　木）	135.8	40.5	123	—	—	—	
	40.00	30.00	10.00	10.00	10.00	100.00	
株　出（湾）	168.9	53.0	120	—	—	—	
	40.00	30.00	10.00	9.00	10.00	99.00	

【 春植部門　荒木 1位生産者 】

【 株出部門　湾 1位圃場 】

株出管理 事例

近年、さとうきびの収穫や植付も機械化が進み、労力の軽減に繋がりました。生産者の高齢化により作業の省力化は重労働から開放され楽になりましたが、一方、従来の管理作業を怠りその結果、畦間に雑草が繁茂し、生育不良及び萌芽不良等の原因による単収低下の圃場も見受けられます。さとうきび栽培で約6割を占める株出圃場は、栽培管理をしっかり行うとかなりの増収が見込まれます。下記は坂嶺と志戸桶の生産者の株出管理事例で、二者に共通するのは、殺虫剤散布と除草対策で、町平均単収(4,162kg)を上回っています。

地区	坂嶺
面積	23 a
畝幅	115 cm
単収	7,649 kg

※ 稀釈した容量 です

《 株出管理 》

初期管理 ： 3月2日 株揃え(ハカマ除去)
施肥 ： 3月6日 硫安 7 袋
6月8日 NK80 9 袋
殺虫剤散布 ： 5月10日 チンチバック・メイチュウ防除
スミチオン 500 ℓ
除草 ： 4月7日 センコル 300 ℓ
5月27日 カーメックス 300 ℓ
アージラン 300 ℓ
畦畔処理 ： 5月20日 ラウンドアップ 100 ℓ
11月10日 〃 〃
その他 ： スプリンクラー潅水 25 ﾄﾝ × 4 回(7月)

地区	志戸桶
面積	13 a
畝幅	115 cm
単収	8,141 kg

《 株出管理 》

施肥 ： 4月20日 NK80 10 袋
殺虫剤散布 ： 6月1日 スミチオン 400 ℓ
除草 ： 5月17日 センコル 250 ℓ
ダイロン
アージラン
2-4D
畦畔処理 ： 6月9日 草枯らし 15 ℓ
その他 ： スプリンクラー潅水 25 ﾄﾝ × 10 回
雑草取り 2 回

生育調査比較

7月末に島内の99箇所で生育調査をした結果を、過去2年分と比較してみました。

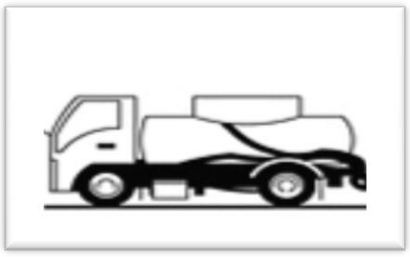
	平成 25 年 7 月				平成 24 年 7 月				平成 23 年 7 月			
作 型	夏植	秋植	春植	株出	夏植	秋植	春植	株出	夏植	秋植	春植	株出
茎長(cm)	170.7	142.3	95.1	118.8	165.5	145.0	78.9	108.2	146.4	109.7	58.7	75.1
茎数(本)	35.6	32.1	40.2	40.2	31.2	30.0	27.1	33.1	32.0	28.9	29.8	35.6

⇩

	平成 25 年 11 月				平成 24 年 11 月				平成 23 年 11 月			
作 型	夏植	秋植	春植	株出	夏植	秋植	春植	株出	夏植	秋植	春植	株出
茎長(cm)	・・・	・・・	・・・	・・・	239.1	235.9	186.5	184.0	229.1	209.1	176.3	172.4
茎数(本)	・・・	・・・	・・・	・・・	25.3	26.6	26.3	23.6	23.5	18.8	23.7	29.8
生 産 量	・・・・・				57,606,793 kg				57,632,894 kg			

連日の猛暑と干ばつでさとうきびの葉はロール現象をしています。
六月二十九日以来降雨がありませんので、
各自、畑の管理はしっかり行いましょう！

散水車 貸出中！！



可搬ポンプ付き

4 トン車(普通免許可)
2 トン車(普通免許可)
のいずれか、
返却日を含めて最大3日間
スプリンクラー未設置地域を優先

喜界町
さとうきび生産対策協議会

問合せ先
生和糖業㈱ 原料係
☎ (65 - 3133)

圃場に散水

畦間に
水が浸透

お知らせ

地力増進に最適です！！

有機物資材 (ハカマ、フィルターケーキ 入)

灰 販売中！
各1台(3ﾄﾝ車) 4,500円 ！！

きび農家には一部助成あり、詳細はお問い合わせを！

喜界農業開発組合 (65 - 4951)

編集後記

中里地区の立毛品評会に出会し、出品した圃場を生産者と見て回った。今年はまだ台風の接近も無く、スラリと直立したきび畑は雑草が見えず、中耕、培土を終え、分けつしたキビに覆い尽くされた圃場には驚嘆した。順調に生育し、収穫期を迎えて欲しい。多くのきび生産者がしっかり圃場管理を行えば近年の不作が解消されるのでは・・・、十分手入れされたキビ畑を観るのも、参考になり意欲や励みが湧くであろう・・・と。★長い歴史のあるきび栽培は、ことさら教えを乞う作物ではないが、除草剤散布も良かろう・・・が、かつて畑に屈み込んで草をむしり取り、単収の高かったきび作りをした先輩達の存在も忘れてはならない。★豊作の再来?がよぎった中里地区の立毛品評会だった。